

防犯防災部・令和4年度の事業活動（案）「SDGs を目指した取り組み」

新型コロナウイルス感染症の拡大に一喜一憂の連続が当面続きますが、感染症の予防に配意しつつ、今年度も昨年度に掲げた下記①～⑤を継続して進めて参ります。

- ① 備蓄品や防災知識向上（自助の強化）
- ② 災害時の安否確認の実現（共助の確立）
- ③ 非常時の電話以外の代替連絡手段の確保（共助と公助の連携）
- ④ 安全・安心な避難行動の実現（自助と共助の融合）
- ⑤ 適切な避難所運営の確立（自助・共助・公助の結集）

上記の5つの柱を実現するため、

- （1） 当会防犯防災部から、毎月1回以上、防災情報の住民向け配信を通じ、自助の強化を確実に進めて参り、災害時に他を頼ることを最小限に留め、結果として共助や公助の負担の軽減に結び付くようにいたします。特に、災害時に怪我をしない、病気にならないための取組みを実施し、災害時に医療機関の世話にならないことで、被災後も安心して過ごせる社会を目指します。
- （2） 安否確認の最終的な目的は、安否確認時に応答のない世帯への地域の対応です。現状でそれを想定した訓練が実現している地区は限定的ですので、これを風早北部地域全体に広める運動を強化して参ります。
- （3） 災害時の柏市災害対策本部へのSOS連絡手段として、各地域団体にはその手段を確保することが行政からも求められています。災害時に助かる命を犠牲者にさせないため、各地域団体で代替連絡手段を確保する行動を支援して参ります。具体的には、より多くの団体へデジタル式簡易無線機導入利用の浸透を推奨して参ります。
- （4） 安心な避難行動、避難所生活の実現を目途に、感染症の拡大がある程度落ち着いた時点での実地訓練の実現を各団体に求め、避難行動に関する学習、及び三年ぶりの地域一斉防災訓練の実現を図ります。

☆具体的な諸活動

- 毎月（予定では引き続き毎月の第四土曜日の午前中を開催日とする予定）の防災活動に関する意見交換会の実施を通じた各地域団体への情報提供と防犯防災活動の支援
- 防災・防犯活動に資する講習会、学習の機会の開催（例：HUG、DIG、防犯関連）、柏市担当課職員との意見交換
- 柏市担当課や柏警察署※への要望事項の提出（※柏市防犯協会風早北部支部と連携した取り組み）
 - 防災対応に関する市役所への要望

- 警察署分署あるいは24時間警察官常駐交番設置の要望
- 当会ホームページを通じた積極的な情報の発信と住民からのフィードバックの聴取（今後の活動への意見の反映を含む）
- 地域女性住民を核とした防災活動サークル「風北ジョイナス」の運営を人材や財政面で支援
- 例年10月～11月まで、或いは冬季に実施する「地域一斉防災訓練」の開催（シェイクアウト訓練・安否確認訓練・無線交信訓練※・避難所移動/運営訓練を含む）※柏市主催の催事を含む
- 災害時に怪我をしない取組みの検討（毎月の防災活動意見交換会にて検討し、具体的な活動に繋げる）

以 上